

平成25年度 「石狩市教育委員会外部評価委員会」 会議録

1. 日 時 平成25年11月6日(水) 10:00~12:00

2. 会 場 石狩市役所 301会議室

3. 出席者

| 氏 名 | 役 職 等 | 備 考 |
|-------|---------------------------|------|
| 村瀬 千檉 | 元北海道教育大学教授 | 委員長 |
| 漆 恵子 | 石狩ユネスコ協会 事務局長 | 副委員長 |
| 伊井 義人 | 藤女子大学 人間生活学部人間生活学科 准教授 | |

事務局 (18名)

生涯学習部長 百井 宏己

生涯学習部次長 柴口 史子

生涯学習部参事 千葉 則理

総務企画課長 上田 均

学校教育課長 蛭谷 学俊

教育支援センター長 西田 正人

文化財課長 工藤 義衛

学校給食センター長 成田 和幸

市民図書館副館長 丹羽 秀人

市民図書館副館長 板谷 英郁

総務企画課総務企画担当主査 高石 康弘 他7名

4. 傍聴者 なし

5. 議事要旨

～ 開会 ～

～ 生涯学習部長挨拶 ～

生涯学習部長

3年間の委嘱期間の中間年ということです。お忙しい中、貴重な時間を割いていただきありがとうございます。そのような中でいただいたご意見ですので、大切に参り

たいと思います。

～ 委員長挨拶 ～

村瀬委員長

今年の3月まで、教員免許状更新講習コーディネーターをしていました。今は卒業生と勉強会とかをしています。先日、以前勤務していた花川南中学校の同窓会がありましたが、石狩市とは、このように古いお付き合いです。年に1回ですが、非常に貴重な機会と思っています。忌憚のない意見をよろしくお願いします。

～ 議題説明 ～

村瀬委員長

議題の「教育委員会点検・評価報告書（平成24年度分）案について」事務局よりご説明願います。

総務企画課高石主査

教育委員会の点検・評価報告書（平成24年度分）の概要についてご説明いたします。

本委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第27条第2項に基づき、点検及び評価を行うに当たって、「教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図る」ことを目的としており、具体的な手法としては、平成24年度に行った教育行政についてまとめました、「教育委員会の点検・評価報告書」にかかり、皆さまのご意見をいただく、ということになります。

ご意見をいただく内容は、大きく分けて2つあります。

一つ目は、「教育委員会の活動状況について」です。

教育長を含めた5名の教育委員の活動は、教育委員会会議での審議などを中心としていますが、その他にも、教育現場の実態把握や、さまざまな場面での意見交換など、多様な活動をしています。これらの活動については、2ページから7ページに記載しております。

二つ目は、「教育に関する事業について」です。

これらについては、教育プランにおいて、施策（大項目）として位置付けた、11本の施策推進の方針です。大項目毎に、「取組の状況」と「成果指標を含めた分析・評価及び今後の方向性など」を10ページから51ページにまとめております。

また、参考と致しまして、大項目に関連する具体的な事業については、取組状況の記載中に「関連する主要事業」として文中にも記載したほか、該当する個別の事業についての詳細内容、評価内容を事業評価シートにまとめ、主要な30事業を52ページから111ページに掲載しております。

以上で「教育委員会の点検・評価報告書」概要の説明を終わります。

村瀬委員長

今、事務局から説明がありましたが、今年を進め方としては、12の項目ごとに、皆さまから事前にいただいているご意見などを伺いながら、点検・評価報告書に記載する内容を決めていきたいと思えます。

また、本日会議で話し合われたことは、議事録として公開されますし、事務局にもしっかりと受け止めていただけるものと考えています。

進め方については、よろしいでしょうか？

委員全員

異議なし。

1. 教育委員会の活動状況について

伊井委員

(No.1) 地理的にも幅広い石狩市の特性を考慮し、理解を持ち活動をしている。浜益区や厚田区の地域・教育事情に関する情報を収集しようとする意気込み、厚田区の学校の在り方検討や、祭りへの参加などが感じられます。

また、スマートフォンや ICT 教育など、最新の教育事情の検討にも時間を割いているので、実際の学校からの具体的な情報収集など、今後もそういった配慮を継続して欲しいと思えます。

村瀬委員長

(No.2) 全国的に問題となっているいじめ、不登校、体罰等、学校にとって最も重視すべき生徒指導に係る案件について、件数が、前年の3回程度と比べ8回程と、例年以上にきめ細かく状況を把握し、会議でとりあげていることは評価できると思えます。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

○スマートフォンや ICT 教育などの最新の教育事情について、検討することは重要であり、学校からの具体的な情報収集なども踏まえ、今後も継続して欲しい。

2. 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性～

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

漆副委員長

(No.3) ボランティアを実践している立場から発言します。私の経験ですが、地域の町内会で26年くらい家庭学習塾をやりました。また、今で言う SAT 的なボランティアで、3カ月程度学校に行きましたが、その時に、先生が私にいろいろと聞いてきました。「確かな学力」は「わかる授業」が基本ですが、先生も大変悩んでいることが分かりました。先生が「わかる授業」を目指して、工夫する教員への支援等の充実が優先される

ようにと思います。

村瀬委員長

家庭でも地域でもサポートすることが大事ですね。

伊井委員

(No.4) 外部評価委員会では、いろいろと発言しますが、このコメントが一番申し上げたいことです。私は教育システムを専門にしているので教授法は専門外ですが、今の漆副委員長の発言のように、教員も悩まれている一方で、非常に優れた実践事例も多々あるのではないかと感じています。それが、全国学力・学習状況調査の結果にもつながればと思います。

教職員は転勤がつきものですので、この市内にいる時の優れた事例を共有できるシステムがあればいいと思います。

村瀬委員長

極めて大事ですね。1校ではなく、学校力を地域に広めるということは大切ですね。

(No.5) 人的支援は、教員が多忙な中、一人でも多くの方がボランティア等でサポートしていくことが大事。今後とも拡充していくことを期待したいと思います。

(No.6) 中学高校教員の超過勤務の典型的要因が部活動なので、子どもと向き合う時間を多くするためにも、今後も拡充に努めることを期待したいと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【全体】

○優れた実践事例の共有できるシステムの構築を期待する。(学校教育分野、社会教育分野に関わらず)

【学力】

○「わかる授業」を目指して、工夫する教員への支援等が充実されるよう期待する。

○学力向上のために、今後も人的支援を今後も拡充していくことを期待する。

○教員が子どもと向き合う時間を確保するため、部活動外部指導者の拡充を期待する。

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

漆副委員長

(No.7) 日常では特別支援教育の内容はわかりにくいですが、児童生徒の個人差がある中で、様々な人的対応がされながら、取り組まれている。人が人を守っていく根本部分での関わり方が大事なので、先生方の理解が深まり、一層充実した教育活動が実現することを期待します。

村瀬委員長

先生方が困っている事で、最も多い事の一つが特別支援教育。また、特別支援教育の先生方も、他の先生に知ってもらいたいと思っている。なかなか深い理解とまではいかないかもしれませんが、簡単な事から理解をしていくことが大事だと思います。高校教育も含めてこのことは大事なことです。

伊井委員

(No.8) この分野についても、先ほどのよい事例「共有」と内容は同様です。

村瀬委員長

(No.9) 私の意見としては、特別支援学校に通学している子どもの高等部への進学については、生徒や保護者の声もあり、スムーズな進学のサポートを期待します。

また、「共有」という点ですが、私もシステムとして構築する事が大事だと思います。学力に話が戻るのですが、全国学力・学習状況調査について、石狩管内の事はわかるので、石狩市の状況を簡単に教えて下さい。

生涯学習部 柴口次長

小中学校とも全国との差が縮み、特に小学校においては大きく改善が見られました。今までは北海道の平均より下でしたが、今回は同等の成績となり、全国とも非常に縮まりました。また、各学校毎に見ますと、全国平均を超える学校数も増えました。

村瀬委員長

そのような全国平均を超える学校での実践事例を中心に、共有していただきたいと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【特別支援教育】

- 特別支援教育について、先生方の理解が深まり、一層充実した教育活動が実現することを期待する。
- 特別支援学校に通学している子どもたちが、高等部へスムーズに進学できるよう、サポートを期待する。

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

漆副委員長

(No.10) 学校づくりの要として、先生の存在は大きいので、地域を良く知っていただきたいと思います。5、6月に家庭訪問を行うと思いますが、時間のない中、通学路やその周辺、いつも子どもたちが歩いている環境に目を配る余裕もないのではと思います。そこまで、目を配っていただけるようにと思います。

村瀬委員長

通勤で通過するだけではなく、実際に地域を歩いて、安全安心、基本的な生活習慣など、学校外の状況にも目を配っていただきたいというお願いですね。地域との連携も今は進んでいますので、地域と共に、これからもお願いしたいと思います。

伊井委員

(No.11) 漆副委員長の意見でもそうですが、地域が学校、子どもを育てていくという視点は重要だと思います。その点では、他市町村と比べても石狩市は地域のボランティア等の定着は進んでいると思います。だからこそ次のステップとして、今後は、「質」と言うと堅苦しいですが、上手く行っている例、またその逆の例なども含めて、そのボランティア活動の「質」を吟味することなどを、行う時期に来ているのではないかと思います。

(No.12) セミナーについては、「実践的」な内容があるほうが、評価は高いと思います。かつて、教員研修等で、一部の免許更新もそうかもしれませんが、ただ聞く講義形式よりも、実践的であるほうが、お互いに良いと思いますので、その状況を続けていただけたらと思います。

村瀬委員長

教員免許更新ですが、必修よりも選択のほうが好評です。実践的な内容で、例えば小学校と高校の先生がコミュニケーションをとるなどしていると評価は高く、おっしゃる通りだと思います。ボランティアの質については、教育大もそうでしたが、本当に質、心構えが大事だなと思います。

(No.13) 私は、市主催の教職員研修が86%になっていて、目標を超え、参加した教員数が目標値を上回っていることや、参加者が有意義だったと感じた人の割合が多いことは高く評価できると思います。実践的な事もしているとのことなので、数字にも表れていると思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【教職員の研修活動】

○セミナーについては、教員にとって「実践的」な内容をより多く含めることが望まれる。

【地域とともに歩む学校】

○先生方は、より深く地域を知ること努め、地域と共に充実した教育活動が実現することを期待する。

○今後は、ボランティア活動の「質」を吟味するなどし、これらの活動を促進する必要があると思う。

施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実

漆副委員長

(No.14) 地元において40年近くなりますが、子どもも地域の環境も変化していきました。最初の頃は、子育てをする親が地域を守り教育力をつけ、子どもを育てるスクラムを組んでいたのですが、そのような親が地域にいなくなりました。今は、お年寄りががんばっていて、町内会の活力、これが団結し、子どもたちを見てくれている。その力は本当に大事で、石狩にはそのパワーがあると思い、そのような事で、安心、安全対策についての工夫や対応が充実していると感じました。

村瀬委員長

子どもが安心して学校に通えるという事は、一番基本的な事、これはPTAも含めて地域が安定していることが大事、それが地元から見えてよくわかるということですね。これは貴重な意見だと思います。地域の卒業生が、自立して地域のためになっている、そういった人を育てる地域であって欲しいですね。

伊井委員

(No.15) 給食の「いしかりデー」では、私もいただく機会がありまして、おいしくいただきました。食材の地産地消だけではなく、地元の生産者やJAの担当者を交えた食育の授業を展開していて、このような連携は、非常に重要なので、今後とも進めていくべきと思います。前年度の評価に関連してもプラスに評価できると思います。

先ほどの実践共有とも繋がりますが、「いしかりデー」では、子どもたちが口ぐちに「いつものお米よりモチモチしている」など言っていました。子ども自身が、判断、表現する、というように、これからの新たな学力観につながるチャンスが食育・給食には入ってくると思いますので、その点も踏まえ、推進して行って欲しいと思います。

(No.16) 点検・評価報告書（以下「報告書」という。）22p下のデータですが、子育てに関する経済不安が上昇している点には、他の部局との連携も当然必要と思いますが、注目していく必要があると思います。

村瀬委員長

(No.17) 私も同じような見解ですが、食育と安全・安心等環境の整備は、学校教育の最も重要で基本的なことであることから今後とも十分配慮するよう期待します。

札幌では、家庭で朝を食べないで、給食だけ食べにくる子どももいると聞きますが、食育は、本当に大事なことと思います。

(No.18) 伊井委員と重複しますが、子育てに関し経済的に不安に思う家庭の割合が高くなっていることから、目を離さないで、そういった家庭を見て行くことが大事だと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【就学に関する経済的な支援】

○子育てに関する経済不安が上昇している点は、他の部局との連携も含めて注目していく必要があると思う。

【安全安心】

○食育と安全・安心等環境の整備は、学校教育の最も重要で基本的なことであることから今後とも十分配慮するよう期待する。

【食育】(大項目6関係)

○食育については、子ども自身がその食材等を判断し表現するといったように、新たな学力観との関連も踏まえ、推進していったら欲しい。

施策(大項目)5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

漆副委員長

(No.19) 情操教育は大事で、充実した取組みが年々拡大しています。裏方の努力は、ここからは見えませんが、本当にこれは大変な事だろうと思います。

(No.20) 孫を見ていると、いかに情操教育が大事か感じます。石狩市では、すべての学年にまんべんなく漏れることなく実施しています。この精神は、受ける側からもありがたいし、協力する側としても張り合いがあります。これをずっと続けていただき、最終的には、世の中は平和に、子どもたちも平和な心に、というところまでつなげていってもらっていると思いますので、大変嬉しく思いますし、続けていただきたいと思います。

(No.21) 子どもたちの読書活動の取組み等は評価できると書いたのですが、その理由ですが、パソコンや携帯など、子どもでも見ることが出来て、あふれんばかりの情報の中で育つ事が不安です。これで正常に育っていくのか、放置はできないのではと思います。そこで、読書活動、読み聞かせなど、そこに人が介在するような事で、心を育てるようなことが重要だと思います。このような方向で協力をいただいているし、環境を整えていただいていると思います。

(No.22) 問題を抱える児童生徒への支援として「社会的自立」に向けた支援の強化を望むと書きましたが、これは、常日頃思っているのですが、主人の別なボランティアの仕事で、社会復帰が必要な子どもや大人を見ているが、環境が変化しない中で、その環境に戻されることを虚しく感じます。いつも思いますが、社会的自立の環境が、何かないのかなと思うが、なかなか見つからない。勉強が出来ないから勉強、言葉がわからないから言葉、ではなく、社会的自立に向けた違った生き方など見つけられるようなことに協力出来れば、心の面で、一段階、二段階、自分の心のハードルをあげていけるのではと思います。様々な体験を通して、社会を知ることなど、子ども自ら気づく機会を提供出来ればいいと思います。

伊井委員

(No.23) 今の漆副委員長の意見など、事例を共有出来れば、という視点で書きました。

(No.24)「いじめ」の件数が23年度と比較して増加したのは、社会的な背景とも関連することでしょうが、20年・22年と比較すると、減少しているので、無視は出来ないが、数値に毎年一喜一憂すべきではないと思います。

村瀬委員長

(No.25) 豊かな人間性を育む教育活動として、情操教育や職業体験学習に力を入れていることは評価できると書きましたが、情操には、人的環境が一番大事だと思いますし、それを作るのは、文化的環境や物的環境だと思います。これらの面で学校の環境を良くすることが大事。掲示物一つ見ても、荒れているかどうかがわかる。自然環境は素晴らしいので、感動する心とかそういう事だけではなく、今の状況を進めていただきたいと思います。

(No.26) 伊井委員と同様ですが、いじめについては、調べ方、社会的要因で波ができる。いじめ問題は、命に関わることなので、一過性のブームで終わらせてはいけない。先生方も努力していると思いますが、決して油断せず、ずっと継続的に神経を使っていくべきだと思います。

漆副委員長

報告書 27p での、教育支援センターでの社会的自立に向けた支援を教えてください。

教育支援センター 西田センター長

平成24年度は、12名が通級、小学生も含まれていました。コミュニケーション能力を上げるといふプログラムを行う中で、中学生やボランティアの大学生とのふれあいの時間を持ち、農業体験では多人数の中で農作業を体験する。また、石狩管内でのスポーツや文化交流など通じて交流活動をしています。

漆副委員長

わかりました。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【問題を抱える児童生徒への支援】

- 「社会的自立」に向けて、様々な体験を通して社会を知ることなど、子ども自らが気づく機会の提供を期待する。
- いじめについては、生命に関わるいじめもあることから、数値に一喜一憂せず、今後も引き続き、関係者全員で根絶に向けた努力を期待する。

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

漆副委員長

(No.27)「望ましい家庭での生活習慣」の定着について、やはり、教育は家庭からと思いま

す。定着のため、取組みがいろいろとされ、本当にうれしいと思いました。

(No.28・35)「子ども自身が自分を守るための教育」と書いたのは、全体的に見て思うことなのですが、あたりまえ主義というか、市がやってくれる、学校がやってくれる、それがあたりまえだという姿勢が感じられることがある。そうではなく、子ども自身が、自分の身を自分で守るという認識をしてもらいたいなと思ったのです。そう感じたのは、近所で、餌づけされた子育て中のカラスが通学中の子どもを襲うのです。私の家は「子ども110番の家」もやっているのですが、子どもが頭をつつかれて泣きながら駆け込んでくるのです。自分を守るこれくらいの知恵は、子どもたちもちゃんと持たないといけないと思ったのです。カラスも生きている自然界の掟の中で、生き抜く力を身につけるための教育が必要。そういう観点からの子どもにしつけをしてもらえるといい。カラスの対処ですが、キャップを後ろにかぶって、声を出して走り抜ければいい。これは何件もあったので、学校に連絡して、この時期はこうなさいよ、とお願いしました。

(No.29) 正しいラジオ体操や部活動等の推進を望むと書きましたが、石狩市はスポーツの町でもあります。皆が身体を鍛えられればいいと思うのですが、手短なのは、ラジオ体操だと思います。正しいラジオ体操をすることで、正しい身体になる。奨励をいただければ、ありがたいと思います。

村瀬委員長

携帯電話をしながらの自転車運転が危険だということも、同じように、自分の身を自分で守るということに繋がりますよね。

伊井委員

(No.30) 指標を見ると、おおむね改善傾向にあると評価できると思います。

(No.31) 何回か話題に出た事で、インターネットへの対応についてですが、最近は SNS や Line など、従来とは違った対策が必要になる状況がでてきている。中学校段階まで課題が出ています。今後は、小学校まで影響が出るのかもしれないので、その点も配慮し、進めていくことを望みます。

村瀬委員長

(No.32) 私は、「体力・運動能力調査」において、石狩市の小・中学生とも全国平均に近づいているので、これは評価できると思います。

(No.33) 望ましい生活習慣の定着は、地道で継続的な取組みが重要であり、今後も学校・家庭を軸とし、各関連団体と連携しながら地道に推進していただきたいと思います。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【体力】

○正しいラジオ体操や部活動等の推進を望む。

【基本的な生活習慣と家庭環境】

○「子ども自身が自分を守るための教育」は、今後更に重要。折にふれて、子ども、家庭に周知して欲しい。

- 望ましい生活習慣の定着は、地道で継続的な取組みが重要であり、今後も学校・家庭を軸とし、各関連団体と連携しながら推進していくことを期待する。
- インターネットへの対応については、最近では SNS や Line など、これまでとは違った対策が必要になる状況が出てきていることから、その点も配慮して進めて欲しい。

施策（大項目） 7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

漆副委員長

(No.34) 町内会で主体的に実施されている「防犯パトロール」は、直接的な実績にはつながらないが、大切な活動として評価できる。見えないが支える力が大事で、この力はすごいと思い、とても評価したいと思います。

伊井委員

(No.36) どうしても指標に目が言ってしまうのですが、CAP 事業への参加教職員の数が減少しているのは、関心がなくなったというより、一定程度「普及」したと理解して、コメントをさせていただくのですが、それならばこそ、違う指標を作ってみてもいいのかなと思いました。例えば、新しく石狩市に入ってきた先生の中で、何人が CAP の研修に参加したですとか。指標をベースに判断するので、工夫が必要だと思います。

(No.37) 以前、大学で子ども未来館に行ったとき、高校生、中学生が企画する事業を見ました。あい風寺子屋は小学生なので、企画運営に携わるのは難しいと思いますが、何か、自主性の推進に役立つような工夫があってもおもしろいのではないかと思います、コメントしました。

学校教育課 蛭谷課長

CAP 事業の教職員の参加数ですが、平成 22 年度から全ての小学校 3 年生に取り組んでいます。毎年実施する中で、一定程度研修の機会は確保されたと思います。

村瀬委員長

次の展開は考えていますか。

学校教育課 蛭谷課長

教職員の数というよりも、全 3 年生にということでスタートしていますので、子どもを中心に考えています。

村瀬委員長

確かにそうですね。指標の表現では、ちょっと工夫の余地はありますね。

伊井委員

これまで、CAP 事業に参加したことがある教員数とか、そういった指標でもいいかも

しませんね。

村瀬委員長

はい。私は、意見は書かなかったのですが、学校支援地域本部のボランティアが増えているので、評価したいと思います。また、PTA は本当に大事で、今後も連携を続けて欲しいなど、感想としては持ちました。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【子どもの権利】

○CAP 事業への参加教職員は、一定程度普及したことから、違う指標を作ってみても良いと思う。

【地域で子どもを育てる環境】

○あい風寺子屋事業などで、子どもたちが企画運営に携わるなど、何か、子どもたちの自主性の推進に役立つ手法の導入があれば良いと思う。

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

漆副委員長

(No.38) 市民カレッジですが、私はすばらしいと思っています。石狩市の南北 75 キロの沿線には、いろんな人がいます。古くからの地元のたち人をもっと起用して、コミュニケーション、出会いをつくって、やる気があり石狩市に貢献したいと思っている人を取り上げて、発掘して欲しいと思います。

(No.39) 公民館まつりですが、とってもローカルで、気さくに会話できる、とてもいい空間だと思いました。とてもいいので、なくさないで欲しいと思っています。

(No.40) ユネスコスクールは、全世界で 8~9 千校、日本では 700 校程ですが、国際理解教育と平和につながっていく。これからも旗をふっていききたいと思います。

伊井委員長

(No.41) 指標に関してですが、わずかな上下の動きで一喜一憂すべきではないと思いますが、石狩市民カレッジの登録者数は減っていて、こういったことを行政としてどのように捉えていくのか。また、公民館等の利用者数は増えているので、社会教育全体としては、かかわる人数はそれほど変化ないと思います。仮に、石狩市民カレッジの登録者数の減少を課題視するのであれば、もちろん、市民主導の事業ということは知っていますが、教育委員会にも、なにか新たな取組みを推進する役割を担っていけないかと思いました。

村瀬委員長

減少の要因はあるのですか。

百井生涯学習部長

ひとつは、安定期に入っていることだと思います。この事業は、協働ということで、市民と一緒につくっており、まちの先生講座といって、地元の方に先生になってもらおうとする試みなど行っています。そして、この事業は5年が経過しました。これからどうしていこうか、登録者のことや、ポイント制も含めて、カレッジを担っている市民も課題として真剣に考えています。我々も次にどうしていったらいいか、一緒に考えて行きたいと思っています。

村瀬委員長

(No.42) 私からは、シニア世代を対象にした講座の記載をしたのですが、散歩中の高齢者が本当に増えたなど実感している。当然のことですが、市民の多様な学習意欲を向上させるものとして引き続き充実に努めていただければと思います。これは意見でないので、掲載しなくていいです。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【多様な学習機会の提供】

- いしかり市民カレッジには、地域の達人をもっと起用してはどうか。
- いしかり市民カレッジの普及を一層進めるために、新たな取組みを推進する支援を教育委員会にも期待する。

施策（大項目） 9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

漆副委員長

(No.43) 図書館では、ビジネスとか知的な本が多くて、娯楽的要素の強い時代小説とかが少ない、という声があります。購入費のことや、段階を追った購入とかがあるのですが、市民があつての図書館なので、そういったものを求める方にも、アンケートなどとして、対応することも大事なのかなと思います。

(No.44) 文化祭の時につくる中学校の壁新聞ですが、昔は中学校に入れなかったのですが、この壁新聞はとてもいいので、図書館に続けて掲示をして欲しいです。こういったものを市民に見てもらいたいと思います。子どもはこんなに成長しているのか、こんなふうにもものを見ているのか、そういうことを何も見ないで、「今の若い者は・・・、今の子どもは・・・」と、私たちは言葉を発しがちです。今の子どもの現実、悩みなど、関心を持って見て行きたい。大人が子どもの成長や考えなどを感じ、知る機会である、という観点からも、そのひとつとして、図書館での掲示を続けて欲しいと思いました。

(No.45) 入口付近に、今日の講座や展示は何々ですとか、わかりやすい掲示があればと思いました。図書館にいと、視聴覚室の場所もよく聞かれます。もうちょっと、周知サービスをして欲しいと思います。

(No.46) それから、図書館は小さなスペースもあり、とても楽しいイメージがある。内側の事業だけではなく、野外へのちょっとしたお誘いをする。虫、植物、星、など知的

なイベントとして。そういった試みはどうでしょうか。

また、私はよく、スペースが大きいので図書館のエントランスホールを使っています。気になるのは、青い展示物、大島氏が作成した壁面にある版画ですが。今の市民とコミュニケーションはあるのか、それと、絶対動かしたらだめなものなのでしょうか。

市民図書館 丹羽副館長

ここ数年、中高生利用が少ないことから、そこをターゲットとした蔵書を増やしています。最近、高齢男性の方が急増していると思います。時代小説を毎週毎週、蔵書に入れているのですが、追いついてはいない状況です。年齢の統計はとっていないのですが、近隣の図書館の状況では、中高生利用は2%程度ということで、少ない、だが、利用促進を図らなければいけない面と、一方、急増している高年齢層の利用とのバランスを取らなければならないと思っています。

壁新聞ですが、図書館では、中学校高校の文化部の作品研究を、新聞的なものも含め展示しています。毎年春には壁新聞コンクールなども引き続き各課と協力して行っていきたいと思っています。

入口には、かなり大きな掲示版を用意していますが、もう少し工夫をしてみようと思います。

野外利用ですが、こここのところ天候不順に悩まされ、今年も野外イベントを企画したのですが、エントランスでやることになりました。こういった企画はしていきたい、また、小さな中庭を開放して、自由に出入り出来る雰囲気をつくるようにしています。

百井生涯学習部長

エントランスですが、レイアウトや使い勝手のことを考えると、考える余地はあると思います。ただ、版画の紙にしても100年持ち、時間をかけて変化成長するコンセプトの作品ですので、図書館と一緒に歴史を作る作品だと思っています。ただ、作品との関わり方は、考えないといけないと思います。やみくもに隠したり、動かしてはいけないとか、照明をずらしたらいけないですとか、そういったものではないと思います。ただ、市民へ、この版画の主旨をお伝えすることはもっと必要だと思います。

伊井委員

(No.47) 皆さまの図書館への思い、聞かせていただきました。時代に応じ、図書館の役割機能の変化があると思いますので、対応して運営して欲しいと思います。報告書の数字の話ですが、利用登録者数が減少しているという数値に直面せざるを得ないのですが、報告書の人口に占める利用登録者の割合見ると21%で変化がないので、このことを加味すると、軽微な減少ととらえていいと思いますが、原因の研究含め、この点は配慮していただきたいと思っています。

(No.48) 図書館での取組みと同時に、学校の読書推進事業との連携を進めることが、学力向上にもつながるので、一層の連携を望みます。

村瀬委員長

(No.49) 私は、いつもお話ししていますが、図書館は広報活動が大事なことと思います。いろいろな意味で、市民の情操・知的な発信源として、広報活動を大事にしていただきたいと思います。これは意見でないので、掲載しなくていいです。

市民図書館 丹羽副館長

利用登録者数については、私どもも把握し、ここ数年考えてきています。私どもが見ている限り人の減少はあまり感じられないのですが、滞在時間が長く、数値に表れないなど、利用傾向の変化もあると思います。このような方がもっと楽しめるようなことや中高生の利用など、利用増には欲張った考えを持っています。また、今年度から、フリーペーパーで図書館コーナーをつくっていただき、書評や、図書館イベントを広報しています。非常によい媒体だと思っています。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【市民図書館】

- 市民の図書館という観点から、娯楽的要素の強い時代小説等についても蔵書を増やしてはどうか。
- 大人が子どもの成長や考えなどを感じ、知る機会である、という観点からも、壁新聞などの中学生の文化活動の展示を継続して欲しい。
- 図書館内で開催されているイベント等の周知の工夫をして欲しい。
- 図書館の構造を活用し、知的な野外イベントを行ってはどうか。
- 図書館の利用登録者数・貸出点数の減少傾向の原因究明を望む。
- 学校の読書推進事業との一層の連携を望む。

施策（大項目）10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

漆副委員長

(No.50) 石狩市民の文化芸術への情熱というのは、直接お会いする機会がありますが、これが生きる力となっています。元気と意欲が継続できるよう、何か、青年のボランティアなどに参加いただく工夫はないのかなと思っています。

(No.51) 地元企業には、石狩の大事な一員として、協力してもらえないかなと思った時、浜益での鮭の遡上を思いつきました。子どもたちには、現場に行って直接見て、石狩を知る、生きている実感を身体に感じて欲しい。自然の教材を大いに活かして欲しいと思います。

(No.53) また、石狩全部の、沿線 75 キロの距離を実感する事業、鮭を見に行こうなら、行ってくれるかなとか、例えばさくらんぼやりんごなどではどうか。一度、花川南中で浜益を知っているかと聞いたら、誰も知らない。びっくりした。もっと現地に足を運ばせる。それで、ふるさと石狩が心にできあがる。情報発信だけではなく、行って欲しいと思う。

村瀬委員長

私も学生を連れて、群別の奥の果樹園に行きましたが、桃源郷のようなすばらしいところでした。ところで、文化祭への青年のボランティアなどの参加では、事務局で何かありますか。

社会教育課 齊藤主査

各参加団体に1名ほどボランティアをお願いしている状況です。ヒップホップとかもありますが、割合は少ないです。今後は、参加者を増やして行きたいと思います。

村瀬委員長

(No.52) 私の意見ですが、漆副委員長の意見も含めて、子どもたちの心の豊かさや創造的活動の充実を図るためにも、文化活動、は今後も続けて行って欲しいということです。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【市民文化祭】

○高齢者の意欲と元気が継続できるよう文化祭の支援に青年のボランティアが必要と感じる。

【ふるさと】(大項目 11 関係)

○地元企業主体で「さけの遡上」見学の実施に期待したい。

【文化活動】

○芸術文化は、その町の文化の質を問われるものであり、子どもたちの心の豊かさや創造的活動の充実を図るためにも、拡充を図っていくことを期待する。

施策（大項目）11 ふるさとを学び伝える取組の充実

漆副委員長

(No.54) これについては、事務局にお聞きしましたので、割愛します。

(No.55) 私の思いで書いたのですが、「はまます郷土資料館」と「ガル」ですが、それぞれが点在しているので、もっと一つにして、行くなら両方に足を運んでもらえるように工夫して、お互い活性化になればと思います。

伊井委員

(No.56) 社会教育でもノウハウ、よい事例が共有できればいいと思います。

(No.57) 「ふるさといしかり」こども版には、社会科副読本のイメージがあったのですが、こういうふうを考えてみよう、こういうふうに表示してみようという、いわゆる新しい学力観を意識された内容で編成されたら、よりよいものができるのではないかと、ということです。

村瀬委員長

(No.57) 私の意見ですが、石狩市の自然、歴史、文化等に関する資料館の入館者が年々増えていることは評価できるので、今後とも様々な手立てを講じて増加させることを期待します。

(上記意見等にかかり、点検・評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【資料館】

- 「はまます郷土資料館」と「ガル」の運営の関連性の充実を図ることで、お互いが活性化することを期待する。
- 資料館の入館者について、今後は様々な手立てを講じて増加させることを期待する。

【ふるさと】

- 「ふるさといしかり」のこども版作成には、ぜひ、歴史・地理的な知識の習得だけではなく、必要とされる学力を培うという面で、学校との連携を重視して欲しい。

～ その他 ～

村瀬委員長

それでは、以上で全部の項目が終わったのですが、その他で何かありますか。

伊井委員

せっかくの外部評価ですので、来年度以降プラスに、負担感だけ残るようなものではなく、杓子定規な指標にならないよう、指標について工夫をしていただけたらと思います。

村瀬委員長

点検・評価報告書は、これを読めば全てわかるくらいのもので、素晴らしいのですが、もう少し簡略化も含め、指標の検討もしてはどうかと思います。

総務企画課 上田課長

本市の教育プランに掲載されているもので、指標としてふさわしいか検討の余地がある指標もあります。今後、後期実施計画の策定にあたり、見直し検討したいと思います。

ボリュームについては、良い面悪い面もあると思いますが、他市ではもう少し簡略化されていますので、簡略化したいと思います。

(上記意見等にかかり、点検評価報告書への掲載意見は次のとおり決定された。)

【全体】

- 指標について、杓子定規とならないように今後工夫をして欲しい。

～ 閉会 ～

村瀬委員長

これで議事を終了します。皆さまのご協力に感謝いたします。

(12 : 00 終了)

平成25年11月14日会議録確定

石狩市教育委員会外部評価委員会

委員長 村 瀬 千 樫